

志波城だより

～いにしへの風にあり～

VOL. 11 H24. 6. 25号

盛岡市教育委員会発行

・担当歴史文化課(019)-639-9067

・発行 志波城古代公園(019)-658-1710

みたよんこには今号で11号目となる“志波城だより”です。今年は天体ショーの当たる年。最近では金環日食がみられたり、太陽の前を金星が横切ったりと地球との永遠を楽しめてくれています。前回、日本の広範囲で金環日食を見ることができたのは今から932年前の平安時代でした。932年の月日は長いですね～

**ちあわて
疑問** いにしへの豆 知識 坂上田村麻呂もビックリ!!

昔の人達も体験したの? いにしへの天体ショー ☆

冒頭でみられた金環日食。5月21日の日食は、みたよん、観察されましたか? 1200年前の志波城の時代の人々はどういうふうに日食を見上げたのでしょうか?

日本での日食の記録

天照大神の「岩戸隠れ」の神話は、天照大神が隠れてしまったといふ神話で、日食を表している、といふ説もあります。古事記や日本書紀に登る天照大神は太陽を神格化した神様です。歴史始まって以来、日本で見られた日食は数多く記録に残っています。天文学発達以前は、天の警告・不吉なことと見られていました。

★歴史上記録に残っている日本での日食の例★

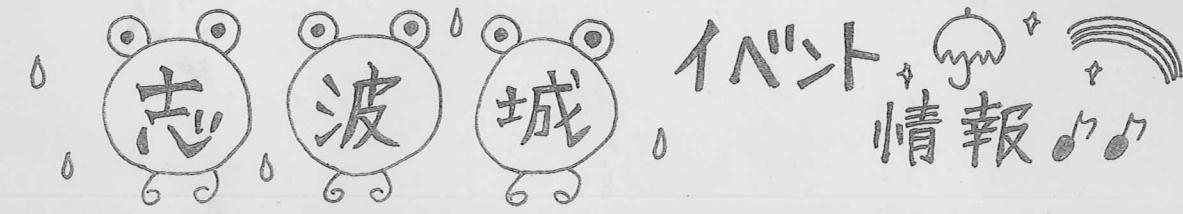
◎ 628年4月10日(推古天皇36年3月2日): 部分日食

…日本で記録に残っている最古の日食。「日本書紀」の推古36年3月の条に「三月の丁未の朔、戊申に日、蝕え尽きたる」とあります。

◎ 975年8月10日(天延3年7月1日): 皆既日食

…「日本紀略」に「975年8月10日、卯辰の刻に皆既日食(午前7時に皆既)、太陽は墨色の如くにて光無し。鳥の群れ舌れ飛び、多くの星すべて見えない。天下に大赦を發布す」と書かれています。(参考文献: Wikipedia フリー百科事典)

日本の首都で見られた史上初の皆既日食が大事件でした。朝廷は天下に大赦を發布して通常は対象にならない死刑囚まで罪を減じたのです。いつもサンサンと光輝く太陽が突然姿を消すなんて珍しいことだったのです!!



平成24年度 志波城・古代の森づくり 植樹祭

6月3日(日)に開催されましたや



本宮地区の街づくり集団「ゆいネット盛岡」さんが主催で、今回で4回目の開催。「植樹祭」は市民の皆様が植樹することで、より一層、身近で愛される古代公園となるよう、また歴史や文化財に対する興味をもついたいけるようにという思いで開催されました。今回は志波城古代公園マスコット「しゃまろくん」も参加。子供達に大人気でした。

6/3(日) 当日は青空の下

谷藤市長をはじめ市民の皆様、街づくり集団ゆいネット盛岡・イオン盛岡南店・盛岡商業高校写真部の方々など、約100人が参加しました。

今回植樹した木はオオシマザクラ、オオヤマザクラ、ハナモモ、ヤマブキなど、全10種類110本を政府北側に植樹。

植樹祭の模様は盛岡商業高校写真部の生徒さん達により撮影され、写真はイオン盛岡南SCに近日中に展示される予定です。

植樹祭終了後に岩手大学教育学部井上教授と学生2名によりミックスドライティの体験会が開催されました。

Q ミックスドライティって何?!

A 最新技術のGPSやセンサーを用いて目の前の景色とCGが融合された映像が見られます。現地に復元されていて、政府正殿・賀殿が目の前に合成されて見えるんだよ!! 9/2の志波城マラソンでも体験できる予定です。



「志波城だより」は志波城古代公園活用事業の一環として発行しております。